

チャンスをいかす

高校3年生の池田樹生（みきお）さんは、2020年の東京パラリンピックを目指す（めざす）陸上選手（りくじょうせんしゅ）だ。先天性（せんてんせい）の障がい（しょうがい）で右足のひざ下と 右うでのひじから先がなく左手も指が2本ない。池田さんは、義足（ぎそく）をつけて走る。池田さんが、陸上との出会い、将来の夢を語る。

陸上との出会い

「中学3年生の夏、ぼくの義足を修理（しゅうり）するために、母と愛知県にある義肢製作所に行きました。そこでロビーにかざられている山本選手を見ました。それを見て、「ぼくにも陸上（りくじょう）ができる」と思ったんです。」



出典：Parahoto

http://www.paraphoto.org/?attachment_id=6930

小さい頃から、体を動かすことが好きでしたが、陸上は無理（むり）だとあきらめていました。だから、小学生の時はサッカーをやっていました。でもボールを義足でけっていたので、

ある日こわれてしまいました。義足は100万円以上もするし、作るのに時間もかかります。それで、サッカーをやめて、中学校ではバスケットボール部に入りました。

バスケも大好きでしたが、山本選手の写真を見て「ぼくも陸上（りくじょう）をやりたい」と思い入部しました。陸上部では、健常者（けんじょうしゃ）といっしょに練習（れんしゅう）しています。

競技用義足

高校二年生の時に 競技用（きょうぎよう）の義足を使い始めました。中京大学のグラウンドで練習があった時、中京大学の陸上部の佐藤圭太（さとうけいた）さん（ロンドンパラリンピック陸上日本代表選手）に会い、「競技用の義足をはいたほうがいいよ」とアドバイスをもらいました。

競技用の義足には補助金（ほじょきん）がなく、ぜんぶ自費（じひ）になります。でもこれから陸上でやっていくにはどうしても必要（ひつよう）だと思って、両親にたのみこみました。競技用の義足を使うようになってから、前よりも長い距離（きより）を走ることができるようになりました。最初はむずかしかったけど、最近走り方が良くなってきたと思います。

夢

2016年のリオパラリンピックに出ることが次の目標（もくひょう）です。そのもっと先にある目標は東京パラリンピックで

す。2020年は23才になっていますが、心身（しんしん）ともに一番良いときだと思います。イギリス代表のピーコック選手が自国開催のロンドンパラリンピックで優勝したように、ぼくも東京パラリンピックで優勝したいです。

ぼくの課題

今、大きな課題（かだい）が二つあります。一つめは右足の筋肉（きんにく）を強くすることです。ぼくは小さい時から右足に義足をつけているので、筋肉が左中心です。左足の筋力を生（い）かすために、右足をきたえたいと思います。

二つめの課題はうでふりです。右うでのひじから先がないので、右うでをふるのを忘れてしまいます。これから義手をつけたいと思っています。義手をつければスタート時の問題も良くなると思います。今は両足と片手の3点しか地面につけられないので、バランスが悪くて、スタートダッシュがおそくなります。二つの課題をクリアできれば、もっと走りが良くなって、記録（きろく）がのびると思います。

スポーツのおかげで

小さい時からスポーツでいろいろな出会いがありました。たくさんの人に障がいがあってもできるスポーツがあることを知ってほしいです。

それから、ぼくにとって先輩（せんぱい）のそんざいは大きいです。佐藤圭太さんに、「いっしょにリレーを走れるようになりたいね」と言われたことが、すごく心に残って（のこっ

て) いて、大きな励み (はげみ) になっています。将来はぼくも後輩 (こうはい) からそんなふうに使われたいです。

<http://www.tjf.or.jp/clicknippon/ja/mywayyourway/05/post-12.php>

公益財団法人国際文化フォーラム くりっくにつぼんより抜粋及び修正

読解

1. 池田さんは どのような障がいを持っていますか。
2. 池田さんが陸上を始めようと思ったきっかけは何でしたか。
3. 池田さんは小さい時、サッカーをしていましたがやめてしまいました。なぜですか。
4. 池田さんの夢 (ゆめ) は何ですか。

5. 池田さんはどんな人だと思えますか。

6. 池田さんが陸上を始めてからチャレンジもありました。
どんなことが大変（たいへん）だったと思えますか。

7. 池田さんが 今取り組んでいる二つの課題は何ですか。

8. 池田さんは先輩がいて良かったと思っています。なぜですか。

作文：

1. 池田さんに手紙を書いてください。あなたの夢は何ですか。その夢をかなえるためにどんなことをしたらいいと思いますか。